

なごや市会だより

広報

名古屋市会の議場は全国でも珍しい円形になっており、円滑な議会運営を目指し、議席を円形にしたと言われています。▶



議会の活動

令和7年(2025年)2月 第194号

11月定例会特集号

11月定例会は、11月19日から12月6日までの18日間にわたって開かれ、補正予算や条例案、人事案件など市長提出案件48件、議員提出議案3件についての審議などを行いました。

名古屋市会

検索



名古屋市ウェブサイト(市会情報)▶

11月定例会の日程(概要)

開会	11/19 本会議	11/20~21 常任委員会	11/22 本会議	11/29 本会議	12/5 本会議・常任委員会	12/6 本会議	閉会
	市長職務代理副市長提出案件について市長職務代理副市長より提案説明	市長職務代理副市長提出案件などについて審査	市長職務代理副市長提出案件について議決	市長追加提出案件について市長より提案説明	個人質問 (→詳細は、2・3面) 市長追加提出案件について審査	市長追加提出案件などについて議決	

市長提出案件(市長職務代理副市長提出案件含む)48件を可決

■以下の9件については、全会一致により、いずれも原案どおり可決しました。

- 《補正予算》 ●令和6年度一般会計補正予算(第6号) ●令和6年度公債特別会計補正予算(第1号) ●令和6年度一般会計補正予算(第7号)
●令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号) ●令和6年度介護保険特別会計補正予算(第1号)
●令和6年度水道事業会計補正予算(第2号) ●令和6年度下水道事業会計補正予算(第2号)
●令和6年度自動車運送事業会計補正予算(第1号) ●令和6年度高速度鉄道事業会計補正予算(第1号)

■補正予算の主な内容は次のとおりです。(1万円未満は四捨五入しています。)

南陽工場の設備更新……………5億6,487万円
契約に基づく賃金及び物価の変動に伴う増額

職員の給与改定等……………72億7,399万円
給与条例の改正に伴う職員の給与改定等

大河ドラマに係る歴史観光推進施設の整備……………4億円(債務負担行為)



債務負担行為とは

複数年度にわたる契約の締結などにより、翌年度以降に債務を負う内容をあらかじめ予算で定めておくものです。



■以下の37件については、全会一致により、いずれも原案どおり可決(承認案件については承認)しました。

- 《条例案》 ●名城庭球場条例の一部改正 ●職員の給与に関する条例の一部改正
《一般案件》 ●契約の締結(5件) ●契約の一部変更(6件) ●土地の無償貸付 ●損害賠償の額の決定 ●指定管理者の指定(18件)
●指定管理者の指定の変更 ●公立大学法人名古屋市立大学第四期中期目標の変更 ●当せん金付証票の発売
《承認案件》 ●補正予算に関する専決処分

■契約の締結(1件)については、賛成多数により、原案どおり可決しました。

民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用するPFI事業として、東芳野公営住宅の設計、建設、入居者移転支援及び民間施設等の整備用地の活用に係る事業契約の締結を行うものです。

■人権擁護委員の推薦については、全会一致により、異議なき旨の答申議決しました。



議員総会を開会しました

■市長の就任あいさつと市会からの祝意表明を行いました。

11月24日に行われた名古屋市長選挙の結果、広沢一郎新市長が当選し、11月26日の議員総会において、市長の就任あいさつがありました。
市会からは田中里佳議長が祝辞を述べました。



広沢市長就任あいさつの様子



田中議長からの祝辞の様子

会派の
略称説明

自民
共産

自由民主党名古屋市議員団
日本共産党名古屋市議員団

民主
陽向

名古屋民主市会議員団
なごや陽向の会

公明
創政

公明党名古屋市議員団
なごや創政会

減税
新生

減税日本ナゴヤ
新生会

維新

日本維新の会名古屋市議員団

個人質問から

12月5日の本会議では、7人の議員が市政全般に対する個人質問を行い、市長はじめ市当局の考えをいただきました。
主な質問・答弁の概要は次のとおりです。(発言順に記載してあります。)

橋本 ひろき 議員 (民主)

就学援助の拡充

質問 市長は、就学援助の対象世帯となる所得基準額の目安として、4人世帯で年収700万円までの引き上げを目指すとしているが、その趣旨と財源は。

答弁 教育費の負担が重く、就学が厳しい世帯が中間層へも広がっていると認識しており、制度の拡充により子育て世帯の経済的負担を軽減し、「子育てしやすい都市」として発展させたい。財源は予算編成全体の中で、必要額を確保したい。(広沢市長)

今後の県市連携の進め方

質問 あいちウィークを例とした、市の発展や市民のために前市長を踏襲・継承してはいけない案件があると考えるが、市と県との関係改善について、市長の考えは。

答弁 あいちウィーク等については関係各機関の意見を参考に方向性を考える。本市の発展のため、県市連携は欠かせないものであり、しっかりと歩調を合わせ、市民・県民の福祉の向上に取り組む。(広沢市長)



保育料の0歳児からの完全無償化

質問 市長のマニフェストである保育料の0歳児からの完全無償化は、出生の順番・所得や年齢を問わず、全ての子どもが無償化を目指すことで間違いないか。

答弁 無償化を実施するに当たり、さまざまな課題があるが、待機児童ゼロも継続できるよう、その影響を適切に把握し、全ての利用者の保育料無償化を目指して、できることから着手する。(広沢市長)

その他の質問項目

- ・市長給与と議員報酬

田山 宏之 議員 (減税)

市民税減税の目的と意義

質問 市民税減税を10%まで拡大するとした市長公約を実現するためには、広沢市長の胆力や交渉力が必要となると考えるが、改めて減税施策の目的と意義は。

答弁 減税条例で定めるとおり、市民生活の支援や地域活性化が目的であり、納税者の可処分所得を増やすことで、消費を喚起し、ひいては地域経済の活性化に効果があると考えている。(広沢市長)

名古屋城天守閣木造復元事業の進め方

質問 「名古屋城バリアフリーに関する市民討論会」における差別事案の最終報告を受け、さまざまな課題への解決策の検討が必要だが、今後の事業の進め方は。

答弁 最終報告を受け、反省すべきところは反省し、改めて真摯な姿勢で一つ一つの課題に向き合い、引き続き、市民や議会等の意見を聞きながら、着実に事業を進めていく。(広沢市長)



市立中高一貫校の設置

質問 市長マニフェストには「高校までの義務教育化を国に働き掛ける」とあるが、「名古屋独自のeducation(教育)」として、市立中高一貫校の設置について、今後の見通しは。

答弁 中高一貫校の設置には検討すべきさまざまな課題があるものの、高校入試の影響を受けずに安定的な学校生活を送ることができる等の利点があるため、他都市の状況調査や課題整理を行いたい。(広沢市長)

その他の質問項目

- ・敬老パスの利用拡充
- ・市長給与800万円及び退職金返上
- ・保育料の0歳児からの完全無償化

北角 嘉幸 議員 (新生)

その他の質問項目

- ・大規模災害への備え

千種区の図書館の移転

質問 千種区の図書館移転について、市は今までの経緯を軽んじ、急浮上した候補地の調査を進めている。丁寧な事業説明と透明性が求められており、市民への十分な説明、理解を得るための最大限の努力が必要では。

答弁 これまで市民に対し、機会を捉えて説明をしてきたと聞いている。さまざまな意見に耳を傾け、課題を解決していくことが重要なので、引き続き丁寧な説明を行い、理解を得られるよう努める。(広沢市長)

大島 英勲 議員 (維新)

子どもを一人も死なせない名古屋の実現

質問 子どもの悩みは多岐にわたる。スクールカウンセラーの充実や高校入試廃止等ばかりをうたい文句に掲げるのではなく、子どもの命を救うため「できることは何でもやる」という市長の覚悟ある姿勢を示すべきでは。

答弁 過去の悲しい事案と向き合い、子どもたちの悩みや苦しみを的確に捉え、試行錯誤し、対策を模索し続ける必要がある。名古屋の宝である子どもの命を守るため、議会の意見を聞きながら進める。(広沢市長)

田口 一登 議員 (共産)

市民税減税の恩恵

質問 市長が10%への拡大を公約する市民税減税は、市民の約半数に当たる非課税者等には恩恵が無いなど多くの市民は減税額年間1万円以下で、物価高騰に苦しむ低所得者をはじめ市民の暮らしの支えにならないのでは。

答弁 市民税減税は納税者の可処分所得を増やすことで市民生活を支援し、所得の改善や消費の喚起がひいては地域経済を活性化させる効果があると考えている。(広沢市長)

長谷川 由美子 議員 (公明)

がん検診の受診率向上

質問 がん検診の受診率向上に向け、一層の検診費用の軽減等、さまざまな検討項目があるが、現状の受診率を踏まえ、どのように施策を進めていくのか。

答弁 さまざまな手法を工夫し、受診率の向上に向け一層努力するとともに議会や各方面からの意見を聞き、「日本一のがん検診治療先進都市」を目指して、強い決意で臨んでいきたい。(広沢市長)

高校生を対象とした定額乗車パス

質問 市長公約で、高校生に対しても定額で地下鉄や市バス等に乗車できる「通学パス」の発給を掲げているが、どのように考え、取り組むのか。

答弁 高校生世代も含め、定額で公共交通機関に乗車できる仕組みを作ること、通学費用の負担軽減につながるものと考えており、新たな仕組みの導入を目指し、今後、当局ともしっかりと検討したい。(広沢市長)



今後の敬老パス制度について市長の考え

質問 敬老パスの利便性向上は、高齢者福祉の観点からも重要だが、より良い制度となるよう議論を重ねてきたこれまでの経緯を踏まえ、今後の制度の在り方は。

答弁 年間負担金ほど利用しないとの意見も伺っている。敬老パス制度をさらに便利で、高齢者の皆さまが、これまで以上に日々の暮らしを豊かに、生き生きと生活していただけるよう制度の充実に取り組む。(広沢市長)

成田 たかゆき 議員 (自民)

市民税10%減税の実施時期

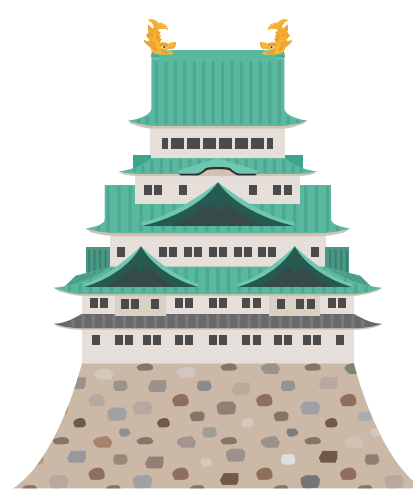
質問 市長は市民税10%減税の実施時期について、令和8年度予算案に組み込むとのことだが、なぜ令和8年度なのか。実施スケジュールについての考えは。

答弁 市民税減税を10%に引き上げる場合、これまで以上に行財政改革を進める必要があり、令和7年度には各局と財源について検討した上で、議会にも説明し、令和8年度からの実施を目指す。(広沢市長)

マイナンバーカードに対する認識

質問 前市長時代に停滞してしまったマイナンバーカードの活用について、DXの視点からも活用は必要不可欠だが、広沢市長の認識は。

答弁 マイナンバー制度はDXの推進に寄与するツールである。マイナンバーカードの活用が任意である限りは、メリットを享受したい市民の皆さまに、その環境を提供することが行政の責務であるという視点で、今後活用していく。(広沢市長)



名古屋城天守閣木造復元におけるエレベーターの設置に対する考え

質問 一貫してエレベーターを付けないとした前市長のこだわりが木造復元事業の進まなかった理由と考えるが、広沢市長も同様か。

答弁 大型エレベーターは設置しない方針だが、バリアフリーは重要である。文化財としての価値を損なわない範囲で、できる限りの上層階まで小型昇降機の設置にチャレンジし、史実性とバリアフリーを両立させたい。(広沢市長)

インターネット録画中継のご案内

本会議での質問などや委員会での議論の様子は、名古屋市ウェブサイト(市会情報)からパソコンやスマートフォンなどで録画中継を視聴できます。録画中継の配信は、本会議・委員会のあった日の2日後(土曜・日曜・祝日除く)から1年間です。ぜひ、ご視聴ください。



11月定例会 提出案件の賛否

議員提出議案

■以下の3件については、全会一致により、いずれも原案どおり可決しました。

《意見書》

●鳥獣保護区における釣りごみの削減に向けた対策の強化を求める意見書

鳥獣の保護のために重要な鳥獣保護区においては、釣り糸や釣り針などの釣りごみの削減や、釣り行為の規制等をできるようにするなど、必要に応じてより柔軟な対策を保護区ごとに図るための検討を行うよう強く要望するものです。

●給付型奨学金制度に関する意見書

意欲と能力のある若者が家庭の経済状況にかかわらず大学等に進学できる環境整備のため、給付型奨学金の給付対象及び給付額をより一層拡充するよう強く要望するものです。

●私立学校に通う家庭への支援の拡充を求める意見書

教育予算を充実させるとともに、高等学校等就学支援金をはじめとする私立学校に通う家庭への支援策について拡充するよう強く要望するものです。

👉意見書の全文は、市ウェブサイト(市会情報)でご覧いただけます。

■契約の締結(1件)について、賛否と結果は下記の表のとおりです。(11月22日議決)

会派	氏名(区)		議決結果	可決
自民	伊 神 邦 彦 議員(千種区)		○	
	神 ひ ろ し 議員(千種区)		○	
	上 村 み ち よ 議員(東 区)		○	
	渡 辺 や す の り 議員(北 区)		○	
	浅 野 有 議員(西 区)		○	
	小 出 昭 司 議員(中村区)		○	
	中 田 ち づ こ 議員(中 区)		○	
	西 川 ひ さ し 議員(昭和区)		○	
	ふ じ た 和 秀 議員(瑞穂区)		○	
	服部しんのすけ 議員(熱田区)		○	
	浅 井 正 仁 議員(中川区)		○	
	吉 田 茂 議員(港 区)		○	
	横 井 利 明 議員(南 区)		○	
	藤 沢 ち あ き 議員(南 区)		○	
	松井よしのり 議員(守山区)		○	
民主	北野よしはる 議員(守山区)		○	
	中 里 高 之 議員(緑 区)		○	
	岩本たかひろ 議員(緑 区)		○	
	く ず や 利 枝 議員(名東区)		○	
	丹 羽 ひ ろ し 議員(名東区)		○	
	成田たかゆき 議員(天白区)		○	
	山 田 昌 弘 議員(千種区)		○	
	くにまさ直記 議員(東 区)		○	
	服 部 将 也 議員(北 区)		○	
	うえぞの晋介 議員(西 区)		○	
	う か い 春 美 議員(中村区)		○	
	塚 本 つ よ し 議員(中 区)		○	
	おくむら文悟 議員(昭和区)		○	
	久 田 邦 博 議員(瑞穂区)		○	
	森 と も お 議員(熱田区)		○	
公明	久 野 美 穂 議員(中川区)		○	
	赤 松 哲 次 議員(中川区)		○	
	加 藤 一 登 議員(港 区)		○	
	橋 本 ひ ろ き 議員(南 区)		○	
	小川としゆき 議員(守山区)		○	
	岡本やすひろ 議員(緑 区)		○	
	日 比 美 咲 議員(名東区)		○	
	田 中 里 佳 議員(天白区)		議長	
	田 邊 雄 一 議員(千種区)		○	
	長谷川由美子 議員(北 区)		○	
	さ わ だ 晃 一 議員(西 区)		○	
	お か 千 恵 議員(中村区)		○	
	木 下 優 議員(中川区)		○	
	月 森 た く や 議員(中川区)		○	
	吉 岡 正 修 議員(港 区)		○	
減税	さ か い 大 輔 議員(南 区)		○	
	金 庭 宜 雄 議員(守山区)		○	
	近 藤 和 博 議員(緑 区)		○	
	中村しゅうへい 議員(名東区)		○	
	辻 ま さ お 議員(天白区)		○	
	佐 藤 ゆ う こ 議員(東 区)		×	
	田 山 宏 之 議員(北 区)		×	
	大田とみひこ 議員(西 区)		×	
	豊 田 か お る 議員(中 区)		×	
	大 村 光 子 議員(昭和区)		×	
	中 川 あ つ し 議員(中川区)		×	
	大 谷 と も ひ ろ 議員(緑 区)		×	
	永 井 ゆ り 議員(緑 区)		×	
	鈴 木 孝 之 議員(天白区)		×	
共産	岡 田 ゆ き 子 議員(北 区)		○	
	みつなか美由紀 議員(緑 区)		○	
	田 口 一 登 議員(天白区)		○	
陽向	金 城 ゆ た か 議員(瑞穂区)		○	
	野 田 留 美 議員(守山区)		○	
	沢 田 ひ と み 議員(港 区)		○	
	村 瀬 き よ み 議員(中村区)		○	
	北 角 嘉 幸 議員(千種区)		○	
	大 島 英 勲 議員(名東区)		○	

○…賛成 ×…反対 議長…議長のため議決に参加できない

- 令和6年11月27日に「減税日本ナゴヤ」から中川あつし議員の離任届が提出され、同日、中川あつし議員から「なごや創政会」の会派結成届が提出されました。
- 令和6年12月1日に「きらめき未来」から会派解散届が提出され、同日、沢田ひとみ議員は自民に加入しました。
- 令和6年12月1日に「青空の会」から会派解散届が提出され、同日、村瀬きよみ議員は自民に加入しました。

名古屋港管理組合議会議員の補欠選挙について

会派所属員の異動に伴い、金城ゆたか議員が名古屋港管理組合議会議員を辞職したため、12月6日の本会議において、名古屋港管理組合議会議員に丹羽ひろし議員を選出しました。

11月定例会中に行った常任委員会の所管事務調査について

■11月定例会では議案の審査のほかに、常任委員会において以下の事項について所管事務調査を行いました。

教育子ども委員会	科学館B6形蒸気機関車及び旧型客車等展示施設新築工事の工事請負契約の締結について調査
 所管事務調査とは 常任委員会が委員会の所管に属する名古屋市の施策・事業について調査を行うことです。	

議会の構成の変更について

委員会の構成について、以下のとおり変更がありました。

月日	委員会	変更前	変更後
11月29日	教育子ども委員会	大田とみひこ委員 (減税)	大谷ともひろ委員 (減税)
	経済水道委員会	大谷ともひろ委員 (減税)	大田とみひこ委員 (減税)
12月5日	教育子ども委員会	中川あつし副委員長(創政)	大谷ともひろ副委員長(減税)
12月6日	財政福祉委員会	沢田ひとみ委員 (自民)	豊田かおる委員 (減税)
	経済水道委員会	豊田かおる委員 (減税)	沢田ひとみ委員 (自民)

市会 の 情 報 発 信

名古屋市会ホームページ(市会情報)

名古屋市ウェブサイト(市会情報)では、議員名簿や市会だよりのバックナンバーなどを掲載しています。また、本会議・委員会の予定日時、議案の審議経過・結果、可決された意見書・決議などについても随時更新して掲載しています。



市会だより 点字版・音声版

市会だよりは、目の不自由な方のため、点字版と市会だよりの内容を録音した2種類の音声版を発行しています。ご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

📞連絡先 市会事務局調査課 ☎972-2094

※インターネットによるオンライン申請でも受け付けています。

提供媒体

- 点字版
 - 紙版
 - 電子データ版
- 音声版
 - デジター版
 - 音楽CD版

点字版・音声版
案内ページ

